

マリンスポーツの新拠点として まちおこしを積極的に担う

お ま え ざ き

file14

御前崎港

対象施設 下岬地区港湾緑地 (マリパーク御前崎)

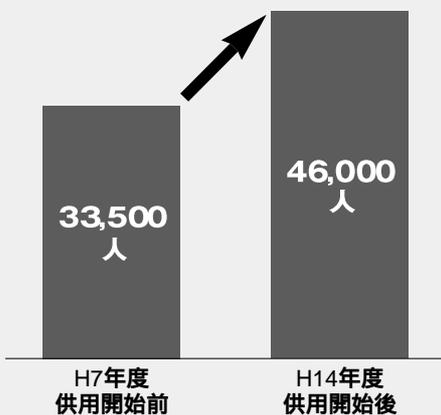
供用 平成8年

御前崎港では、人工海浜やにぎわいの自由広場等を整備したことによって、海水浴客数が増え、年間を通じた各種団体によるイベントの開催等が数多く行われるようになった。

マリパーク御前崎内には、自然エネルギーを利用した風力発電施設が2基設置（平成8・13年施工）されており、公園内の照明灯の消費電力を賄うとともに、新たなシンボル、観光スポットとして活用されている。年間を通じての利用者は、緑地の整備中にもかかわらず年間17万人近くもあり、まちの活性化にも大変寄与している。また、平成15年度には国内初のウェイクボードパークが当緑地内にオープンし、マリンスポーツのメッカ御前崎の新たなランドマークとしての期待も高まっている。



● 供用開始前後の海水浴客数の変化



● イベントの開催状況



● マリパーク御前崎全景



● 風力発電施設

H8年度設置、「ぶんぶん」の愛称で親しまれている



第2部

個別港湾事例